

生物多様性

自然共生社会を構築するために

私達の生きる地球には、たくさんの多様な生命が存在しています。そして私達の暮らしは、さまざまな自然や生き物のもたらす恵みによって成り立っています。ユニーではこうした生物多様性からの恵みを商品を通してお客様にお届けしています。こうした生物多様性を大切に、自然共生社会を持続可能にしていくために、次世代を担う子ども達に自然や生き物との触れ合い、農業体験などを通して「いろいろな生き物と一緒に生きていくこと」を学ぶ環境学習を行っています。

命と暮らしを支える生物多様性

地球が誕生して以来、長い時間をかけて私達人間を含めさまざまな生き物が生まれ、つながり合って生きてきました。その生物多様性がもたらす恵み「生態系サービス」によって、私たちの命や暮らしは支えられています。生物多様性条約では、この生き物のつながりを3つのレベルで分類しています。

◆生物多様性の危機

地球上に約3,000万種の生き物がお互いにつながり合って生きている生物多様性。このかけがえの無い存在が人間の活動が原因で崩れ、毎年4万種の生命が絶滅していると推定されています。その原因は、①開発・乱獲により自然を破壊している。②里地里山などに人が手を入れなくなった。③外来種の持ち込み、化学物質の排出などで生態系を攪乱した。④地球温暖化の影響。などが挙げられています。

生態系の多様性

海や川、森、里、さまざまな自然があること

種の多様性

いろいろな生き物がいること

遺伝子の多様性

同じ種でも個体差があること

生物多様性を守る取り組み

私達が生きていくために必要な酸素は植物によって作られ、汚れた水は微生物などによって浄化されています。そして人間は他の生き物の生命を食べて生きています。そして、生き物からの「恵み」をもたらす生物多様性を守って作られた食べ物や製品を選んで購入することが、生物多様性を守ることに繋がります。ユニーはこうした「供給作用」をお客様と一緒に「お買い物」を通して行っています。



生物多様性に配慮した商品の販売

自然を守ることが生き物を守ることになり、そうして作られた食物や製品をユニーが販売して、お客様が選んで購入して下さる、こうした生物多様性への応援がお買い物でできることを、消費者の方にもっと知っていただけるよう努力しています。

Voice **オーガニックコットン**

一般の綿花栽培では多くの農薬や殺虫剤を使用しますが、オーガニック栽培では農薬や殺虫剤は使いません。その代わりに自然堆肥を使用したり、土に栄養を与えるために同じ区域の畑にマメ科の植物を栽培したりします。それらの工夫により土地を豊かにし、地球上で最も多様な生物の生息域である土壌を守ります。

衣料・住関本部 企画部長 榊山 偉晴

Voice **FSCトイレットペーパー**

原料には再生紙ではなく、紙パルプを使用していますが、この原料は「正しく管理された森林」の基準を満たした木材や製品に認定されるFSC認証のついたものです。紙パルプ本来の品質、使い心地へのこだわりと、自然環境への配慮の両方を求めたトイレットペーパーです。

衣料・住関本部 ヘルス&ビューティ部長 千葉 哲志

Voice **サステナブルコーヒー**

私は、私達の暮らしに欠かせないコーヒーがどこで、誰がどうやって作っているのかを伝えたいと思っています。コーヒーの木を栽培している熱帯雨林は、生き物の宝庫ですが、1日に100種以上絶滅しているのだそうです。「シェードグロウン(木陰栽培)農法」で育てることで、自然林を維持し森の生き物と共存することができるので、コーヒー農園が生物多様性保全することで地球環境と生き物の未来につながっているのです。そのような取り組みをしている認証農園のコーヒーを応援しています。

珈琲工房ひぐち 樋口 美枝子さん

森を守る活動

◆森の町内会

森を守るために間伐し、その費用を環境評価として価格に反映させた紙を選んで使うことで、森林保全に貢献する活動です。ユニーは2016年の環境レポートに3,568kgの森の町内会「間伐に寄与する紙」を使用したことで、長野県の森0.29haの間伐に貢献しました。



森の町内会

◆森の命を守る活動

ビールやコーヒーなど飲料メーカーが実施する、水源の森の保全活動に、お客様と一緒に参加しました。



キリン水源の森保全活動

◆森を守るドネーション企画…エコとくお買い物券 (P39参照)

家庭で不要になった衣料品を回収し、引き換えに配布したお買い物券使用枚数1枚につき3円を、森林再生のために「公益財団法人Save Earth Foundation」に寄付しました。




SEF山武の森再生活動 間伐

テーブルの上の生物多様性

ユニーの売場に並んでいる食品は「生物多様性の恵み」です。「私達は生き物の命をいただいて生きている」ことに感謝し、自然環境やそこで生きたる生き物を保全して生産された食品を選ぶことで、生物多様性に貢献することが私達の務めです。

◆アトランティックサーモン
ノルウェーのきれいな海を守るために、養殖場から加工工場まで汚水を外に出さないシステムを構築、加工工場の汚水は魚油としてリサイクルしています。





◆フェアトレードアイスクリューム
ユニーでは2017年より、日本初の国際フェアトレード認証アイスクリュームである「ベン&ジェリーズ」の取り扱いを開始しました。砂糖やバニラ、ココアなどのフェアトレード原材料を使っていてお子様にも安心して食べていただけるアイスクリュームです。



◆食品リサイクル～命をつなぐ環～
店舗から排出される食品残さ(野菜クズや魚アラなど)を原料にした堆肥を使うと、土壌を健康に豊かにする微生物やミミズが生きている畑や田んぼになります。こうした畑や田んぼで野菜や米が育てられています。

愛知県ヒラテ産業・JAグループ[愛知県]



◆愛知県の伝統発酵食品 (八丁味噌)
八丁味噌は、愛知県の伝統的な発酵食品で、大豆と塩を原料に木製の樽に仕込む、昔ながらの製法で生産されています。



◆サステナブルコーヒー
熱帯雨林の下でシェイドブroun農法有機栽培で生産したコーヒーは、ジャングルの植物や畑の生き物の環境を守って生産されています。



いろいろな生き物と一緒に生きる

次世代を担う子ども達に、身近な生き物と触れ合うことで、命を育む食べ物ことや、いろいろな生き物と一緒に生きていることを体感する環境学習を行っています。

陸の豊かさを大切に

◆農業体験

食品リサイクルグループで循環型農業を行っている畑や田んぼは、化学肥料や農薬を削減し、食品残さの堆肥を使った健康な土壌です。カエルの住む田んぼで作った作物は人間にも安全安心です。



畑ではたくさんのさつまいもを収穫しました

◆日本モンキーセンター キッズズー

公益財団法人日本モンキーセンターと協働で、子ども達が生き物と触れ合うキッズズーを開催しました。またキュレーターの先生の生き物クイズで楽しく学びました。



地球の仲間にはいろいろな生き物がいました

◆森の探検

長久手市や犬山市の森の中で、いろいろな植物や生き物を見つけました。専門のインテプリターに森や生き物の話を聞きました。また、森の中で生き物が繰り返る循環や私たちが森から恵みを受けていることを学びました。



森の循環は生き物が大活躍

海の豊かさを大切に

◆名古屋港水族館

移動水族館でアカウミガメと触れ合いました。また名古屋港水族館を訪れる子ども達の観察ノートを作成し、海の生き物について学ぶための支援をしています。



水族館からウミガメの赤ちゃんがやって来ました

◆川の水生生物を観察

大垣市の郊外にある牧田川で、川に住む生き物を観察しました。石の下に住む水生昆虫や魚を捕らえ、名前を調べたり形や動きを観察してから川に戻しました。



川には見えないところにたくさんの生き物が隠れていました

◆愛知県三河湾再生プロジェクト

愛知県との協働で、子ども達に身近な海の豊かさを知ってもらうために、三河湾の水生生物に触れ合い、名産のアサリのつかみ取りなどを体験しました。



三河湾の生き物と触れ合いました